

がん患者・家族向け冊子『もっと知ってほしい 急性リンパ性白血病のこと』制作

特定非営利活動法人キャンサーネットジャパン（以下、CNJ）は、急性リンパ性白血病（ALL）について科学的根拠に基づいた正しい情報を提供することを目的として、アステラス・アムジェン・バイオフーマ株式会社との協賛、株式会社毎日放送の協力のもと、一般社団法人日本血液学会、一般社団法人日本造血細胞移植学会の後援を受け、冊子『もっと知ってほしい 急性リンパ性白血病のこと』を制作しました。

急性リンパ性白血病（Acute Lymphoblastic Leukemia : ALL）は血液がんの一種で、血液細胞のうち、リンパ球になる途中の未成熟な細胞ががん化して急激に増殖する病気です。ALLは小児から高齢者まで幅広い年代で発症します。小児がんの中では最も多く、成人では年齢が高まるとともに発症率が上がります。ほとんどの場合、原因は不明で、遺伝とは関係のない病気です。

『もっと知ってほしい 急性リンパ性白血病のこと』は、慶應義塾大学 医学部 血液内科 教授の岡本真一郎先生監修のもと、急性リンパ性白血病の疾患概要から、検査法、標準的治療法、副作用等について、患者や家族、患者支援に携わる方々が知っておきたい情報を、20ページにまとめています。また、急性リンパ性白血病の患者さんによる治療体験を“Patients Voice（患者の声）”として掲載しています。



この冊子は、CNJのウェブサイトwww.cancernet.jp/all や、CNJの動画サイト「もっと知ってほしい急性リンパ性白血病のこと」www.cancernet.jp/hematologiccancer/all ほか、CNJが運営するがん医療情報サイト「キャンサーチャンネル」内ブックレットwww.cancerchannel.jp/posts/category/booklet からも無料でダウンロードが可能です。

この「もっと知ってほしいシリーズ冊子」は本冊子を含め全28種となり、全国のがん診療連携拠点病院での設置率も約96.6%¹と、多くの方に利用していただけるようになりました。このシリーズの冊子が、今まさに治療と向き合っている方々の一助となることを願っています。

是非、一人でも多くの急性リンパ性白血病の患者さんへこの冊子が届くよう、周知へのご協力をいただけましたら幸いです。

認定NPO法人キャンサーネットジャパン

1991年に、二人の医師により、米国における乳がん患者向け冊子を翻訳・出版・無償配布したことに始まり、以来、FAX、Eメールによるセカンドオピニオンサービス、NCIPDQの翻訳Web公開（現在は終了）等で標準治療の普及に貢献してきた。2001年にNPO法人化、同年ホームページが日経インターネットアワードを受賞。2007年1月からは組織を一新し、専用事務局を開設し、がん医療の啓発イベントの開催、教育事業等を通して、一貫して「科学的根拠に基づくがん医療の普及啓発」に取り組む。これらの活動を通して、がんと向き合う人々が、自分らしくがんと向き合える社会を実現することを目指している。がんの最新情報発信のため2014年から毎年夏に開催しているCancer Forumは、2,000名以上の参加者が集い、がん患者・家族らのための最大級のイベントとなっている。2016年8月、認定NPO法人となる。

¹ キャンサーネットジャパン 2018年 がん診療連携拠点病院アンケート調査より

【冊子に関するお問い合わせ先】

認定NPO法人キャンサーネットジャパン

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&Kビル 2F

Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073